



2005年3月期 決算説明会

説明資料

2005年5月18日

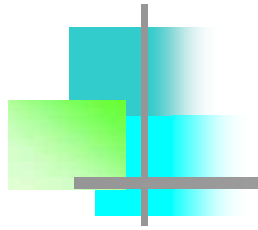


総合エンジニアリング
日比谷

日比谷総合設備株式会社

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

2005年3月期 決算の概要



2005年3月期の決算概要 【連結】

	2004.3期実績	2005.3期実績	増減率(%)
売上高	673.2 億円	540.7億円	19.7
営業利益	20.9 億円	0.1 億円	-
経常利益	35.4 億円	11.4 億円	67.7
当期純利益	22.1 億円	9.2 億円	58.3
R O E	4.5 %	1.8 %	2.7 ポイント

2005年3月期の決算概要 【単体】

	2004.3期実績	2005.3期実績	増減率(%)
売上高	587.0 億円	452.8 億円	22.9
営業利益	17.4 億円	0.9 億円	-
経常利益	23.8 億円	5.5 億円	76.8
当期純利益	12.5 億円	3.7 億円	70.3
R O E	3.3 %	1.0 %	2.3 ポイント

子会社・関連会社の2005年3月期 決算概要

区分	会社	項目	2004.3期実績	2005.3期実績	増減率(%)
子 会 社	日比谷通商	売上高	105.3億円	93.2億円	11.5
		経常利益	1.1億円	0.5億円	55.2
		当期純利益	0.9億円	0.2億円	82.0
	ニッケイ	売上高	34.8億円	31.1億円	10.7
		経常利益	1.8億円	0.5億円	72.6
		当期純利益	1.0億円	0.2億円	77.6

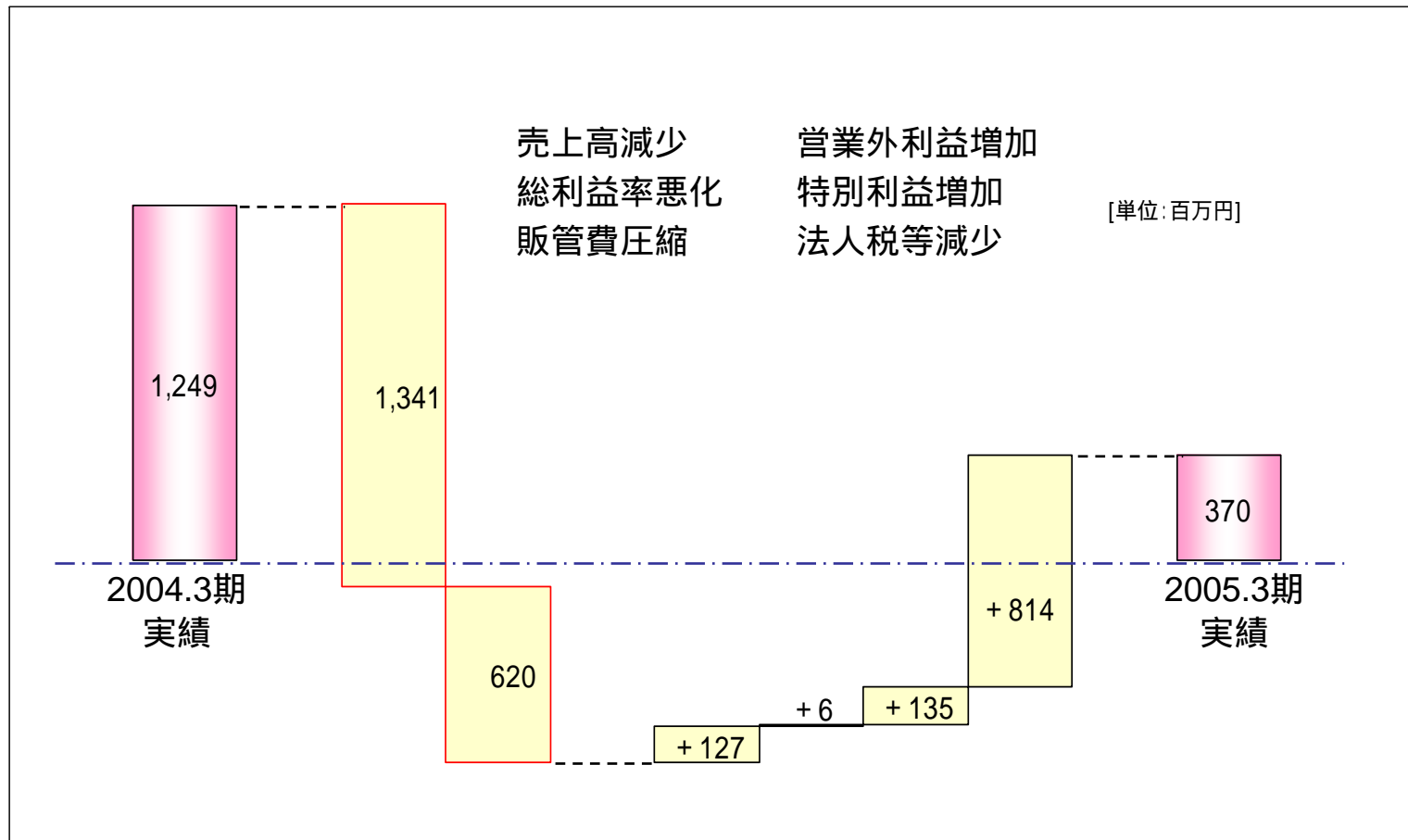
上記子会社2社の他、持分法適用の関連会社として、当社グループでは日本メックスがあります。(2005.3期実績:売上高 472.1 億円、経常利益 15.9 億円)
尚、連単倍率は 1.19 倍となります。

2005年3月期 損益計算書 【単体】

(単位:百万円)

区 分	2004.3期実績	2005.3期実績	増減率 (%)
売 上 高	58,696	45,284	22.9
原価	52,823	41,372	21.7
総利益	5,873	3,911	33.4
総利益率	10.0 %	8.6 %	1.4 ポイント
販管費	4,133	4,005	3.1
営業利益	1,740	93	-
営業外損益	638	645	1.0
経常利益	2,379	551	76.8
特別損益	32	168	415.9
法人税等	1,162	349	70.0
当期純利益	1,249	370	70.3

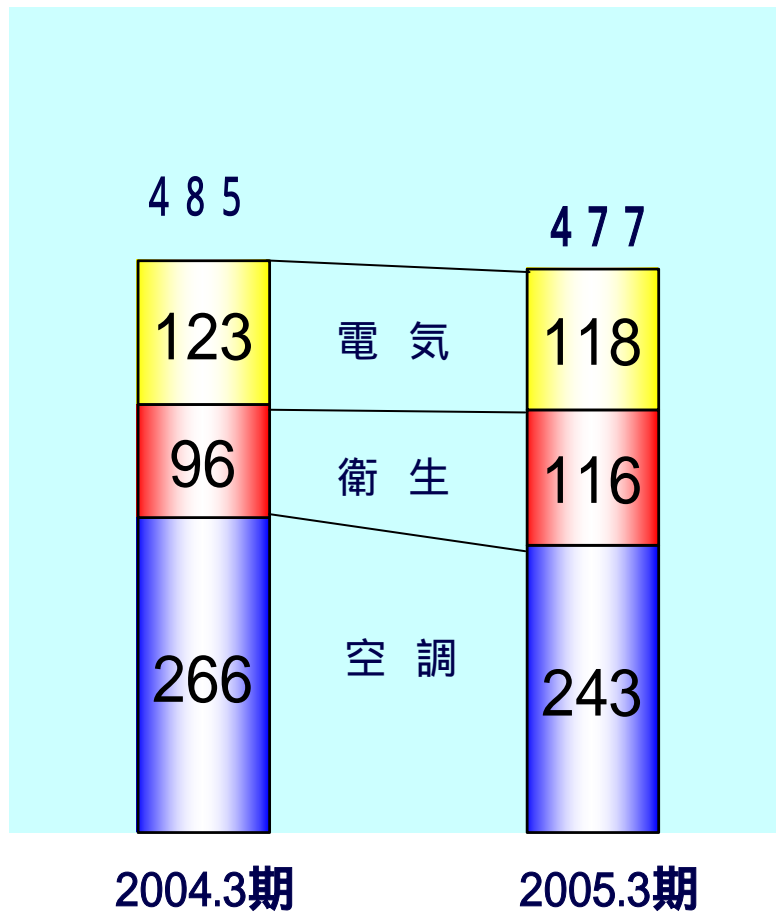
当期純利益増減要因 【単体】



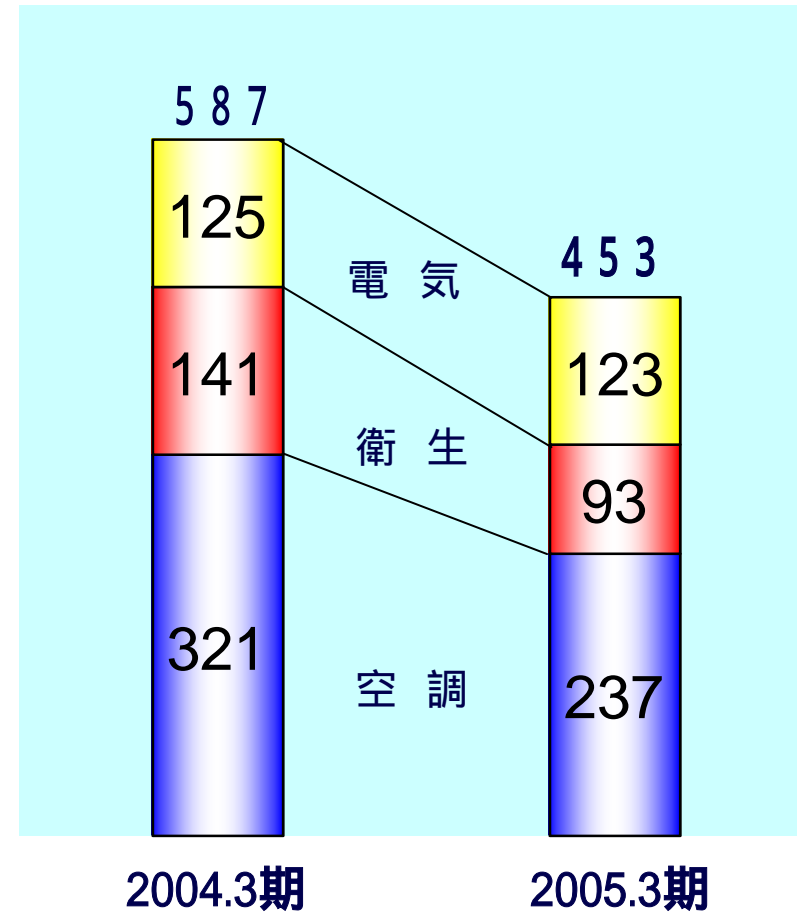
分野別 受注高・売上高 【単体】

(単位:億円)

受注高



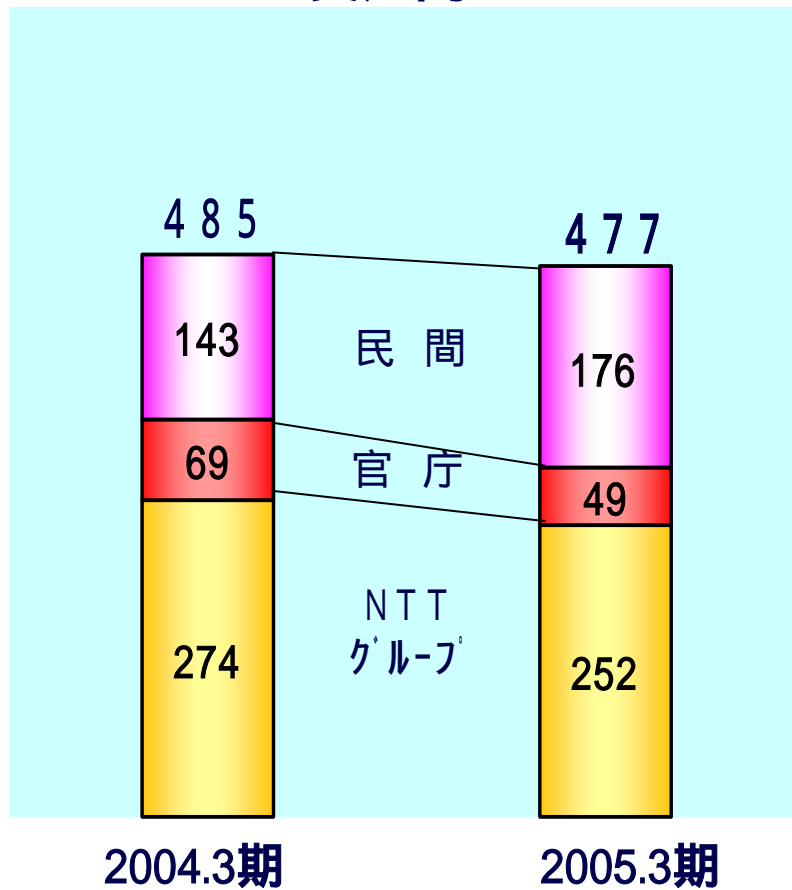
売上高



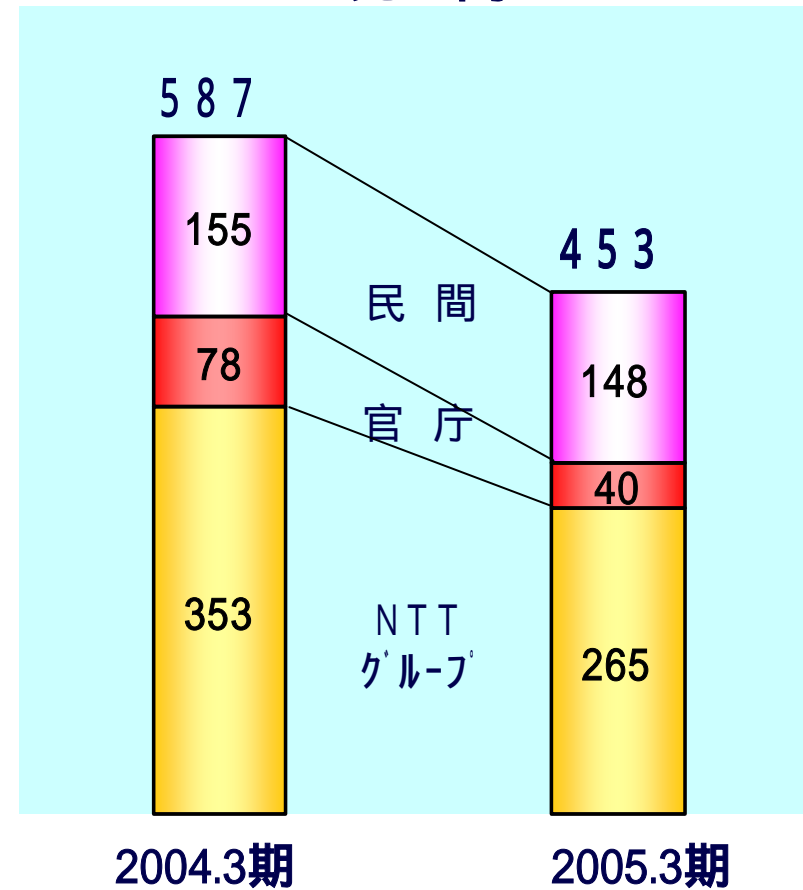
顧客別 受注高・売上高 【単体】

(単位:億円)

受注高



売上高



中期経営計画の進捗状況

営業力強化による民間・官公庁受注の拡大

- ▶ 民間受注高は前年比23%増、計画比では7%の減
- ▶ 官庁受注高は前年比29%・計画比45%の大幅な減

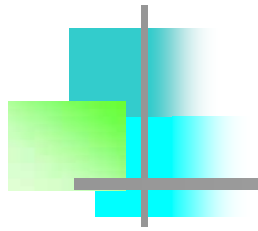
売上確保・原価低減等での必要利益の確保

- ▶ 原価低減に努めたものの、売上高の大幅な減により利益目標は未達成

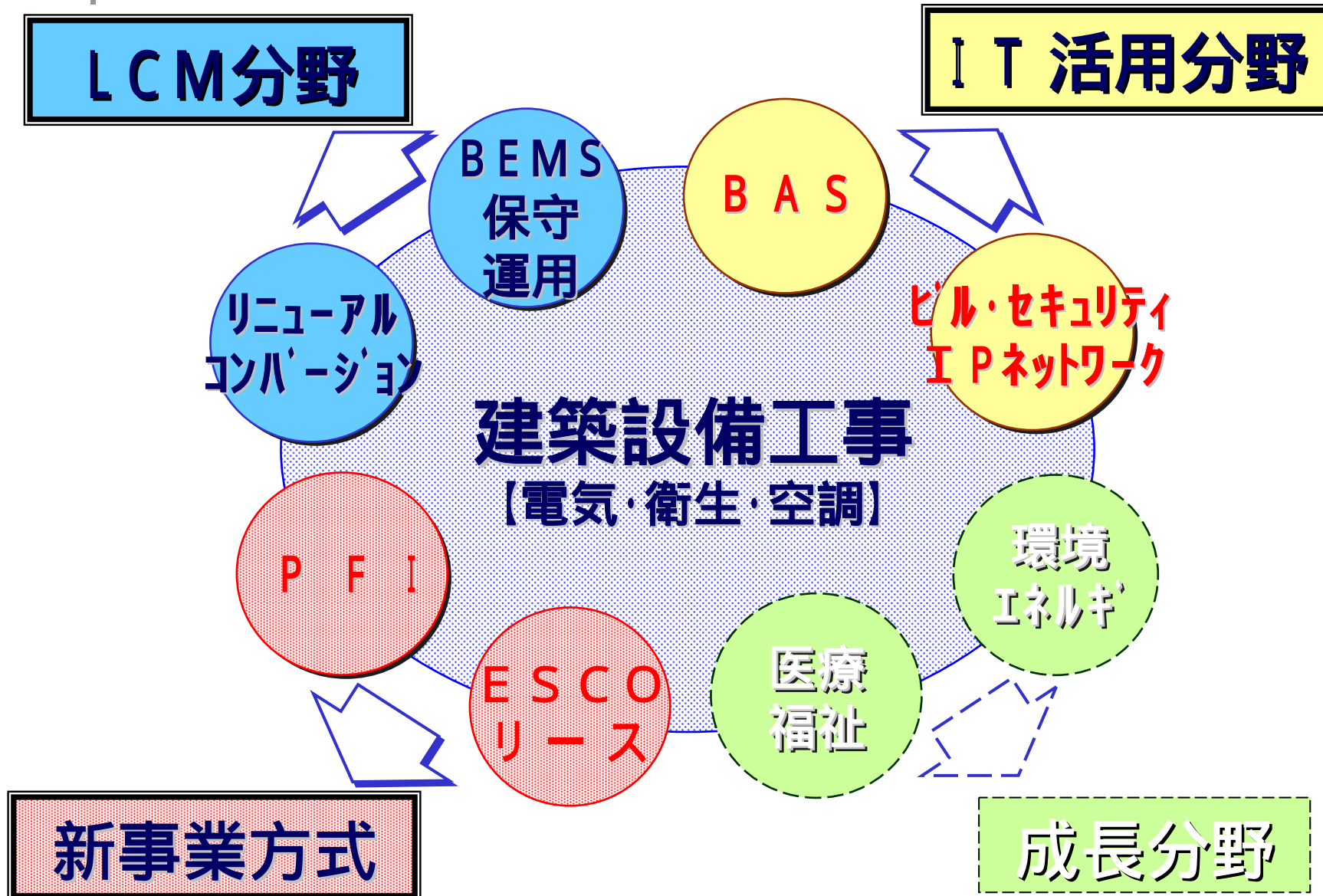
成長市場・新規事業分野での実績作り

- ▶ リニューアル・IT活用・LCM・PFI等事業分野での実績

2005年3月期 事業領域の拡大



事業領域拡大の実績



事業領域の拡大(1)

LCM分野

コンバージョン



Lattice aoyama
(日土地青山ビル)

リニューアル



アーバンネット中野ビル

事業領域の拡大(2)

LCM分野

3E.SUPPORTシステム を試験導入し、運転・検証中

産学連携施設(大
学)



事務所ビル1



事務所ビル2



3E.SUPPORT システム の紹介

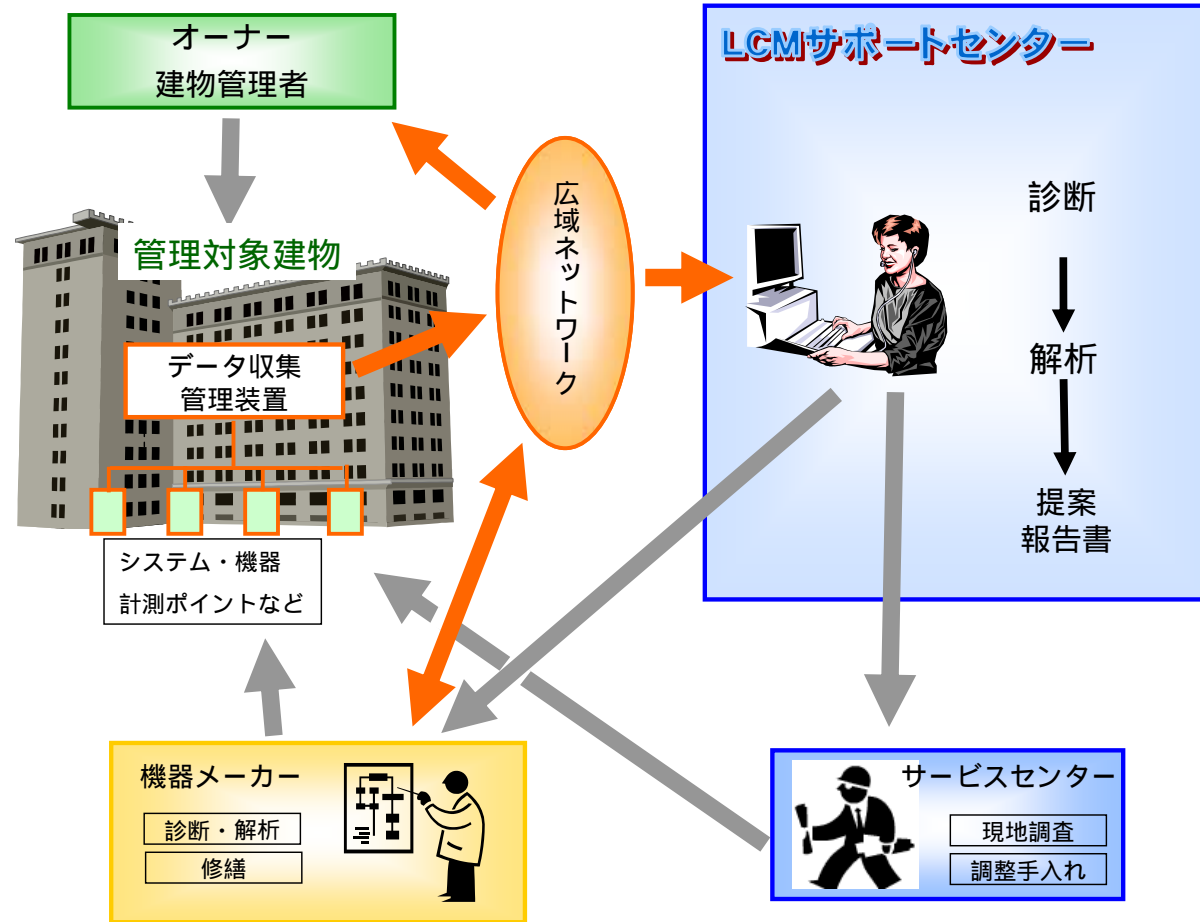
ビル設備のLCM(ライフサイクル・マネージメント)サポートシステム

3E.SUPPORT は
ビル全体の維持管理を
サポートし

Environment(環境)
建物内の**環境改善**

Energy(エネルギー)
省エネルギー、CO2削減

Economy(経済性)
維持管理**コストの削減**
を実現します。



事業領域の拡大(3)

IT活用分野

オランダヒルズ森タワー

自社開発・オープンBAS

LONWORKS技術を活用した
分散制御型オープンBAS
(Building Automation System)

IPネットワーク

WEBによるテナントサービス提供

BEMS導入

オープンBASを活用し緻密なエネルギー管理
「NEDO・BEMS導入支援」対象事業
(Building & Energy Management System)



事業領域の拡大(4)

P F I 事業

岐阜大学 総合研究棟

事業期間 (2005.3 ~ 2018.3)

竣工 2005.2.



東北大学 学生寄宿舍

事業期間 (2007.3 ~ 2019.3)

受注 2005.3.



【特別目的会社(SPC)の構成員として参画】

2006年3月期 事業計画の概要



2006年3月期の計画

【連結】

	2005.3期実績	2006.3期計画	増減率 (%)
売上高	540.7億円	635億円	17.5
営業利益	0.1億円	11億円	-
経常利益	11.4億円	21億円	83.7
当期純利益	9.2億円	14億円	52.0
R O E	1.8 %	2.8 %	1.0 ポイント

2006年3月期の計画

【単体】

	2005.3期実績	2006.3期計画	増減率(%)
売上高	452.8 億円	545 億円	20.4
営業利益	0.9 億円	10 億円	-
経常利益	5.5 億円	15.5 億円	181.8
当期純利益	3.7 億円	8.5 億円	123.7
R O E	1.0 %	2.3 %	1.3 ポイント

子会社・関連会社の2006年3月期 計画

区分	会 社	項 目	2005.3期実績	2006.3期計画	増減率(%)
子 会 社	日比谷通商	売 上 高	93.2億円	112億円	20.4
		経常利益	0.5億円	1.0億円	100.0
		当期純利益	0.2億円	0.5億円	246.7
	ニッケイ	売 上 高	31.1億円	32億円	2.7
		経常利益	0.5億円	0.5億円	-
		当期純利益	0.2億円	0.2億円	-

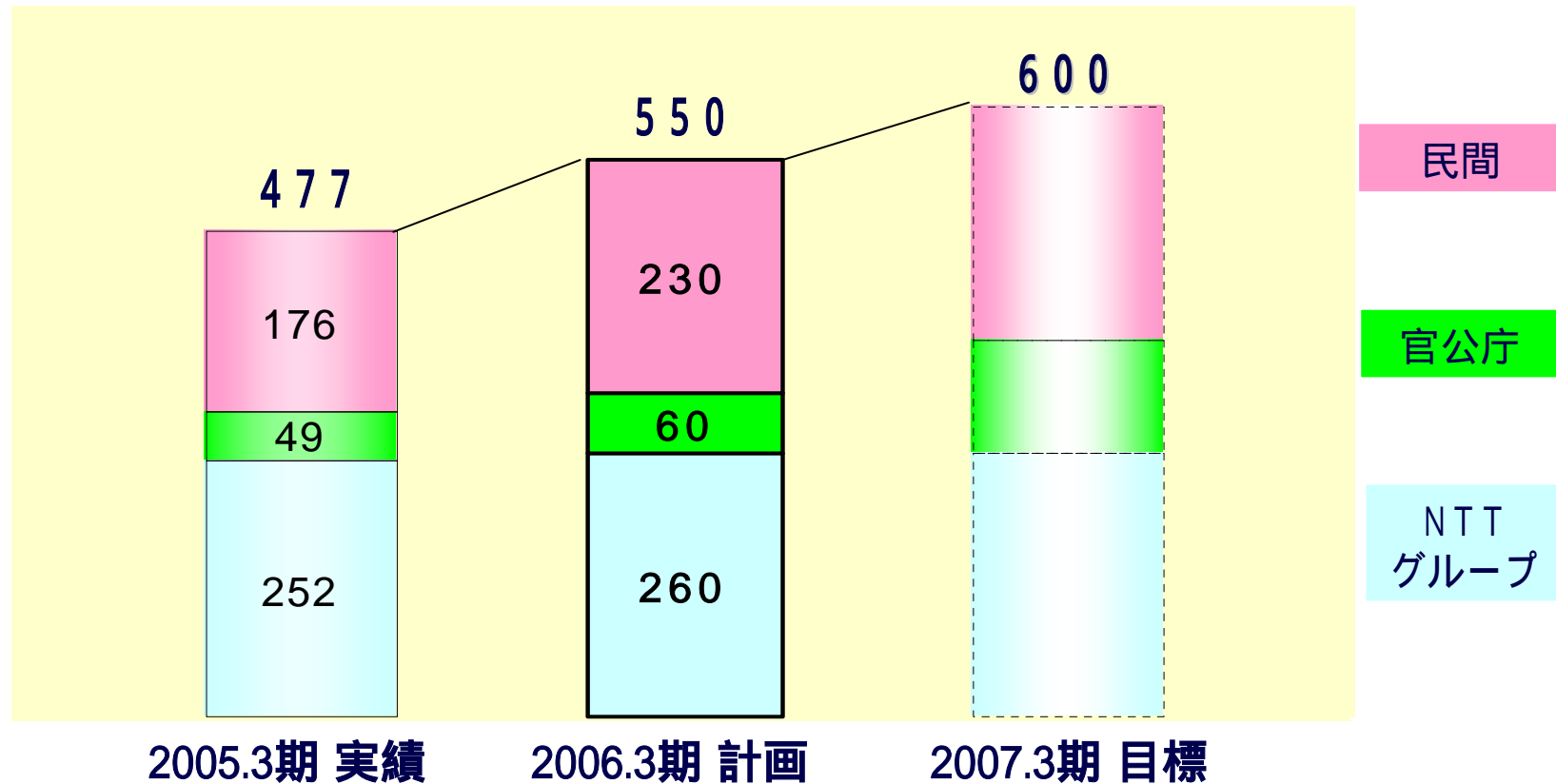
上記子会社2社の他、持分法適用の関連会社として、当社グループでは日本メックスが
あります。(2006.3期 計画：売上高 500 億円、経常利益 16 億円)

尚、連単倍率は 1.17 倍となります。

顧客別受注高

【単体】

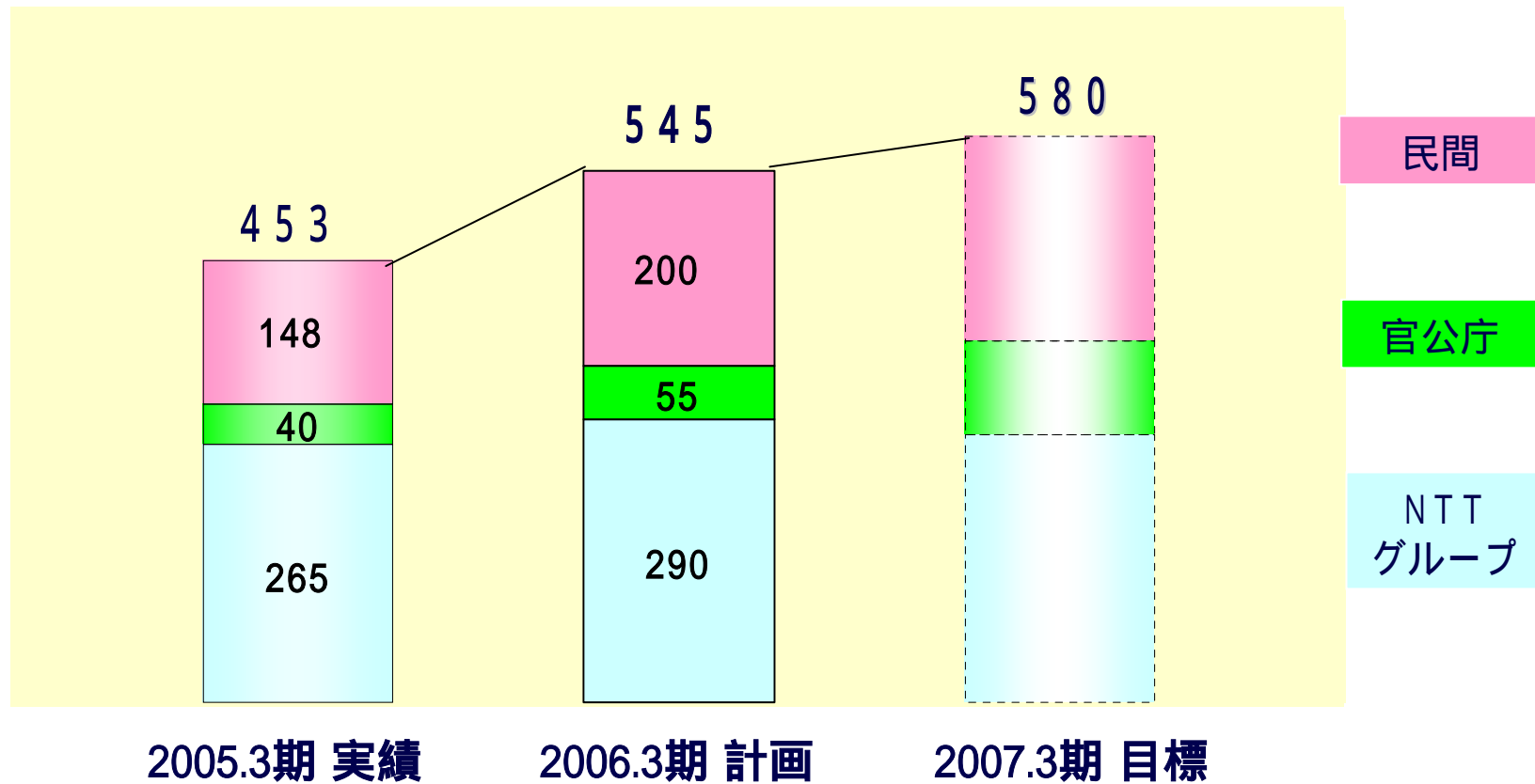
(単位:億円)



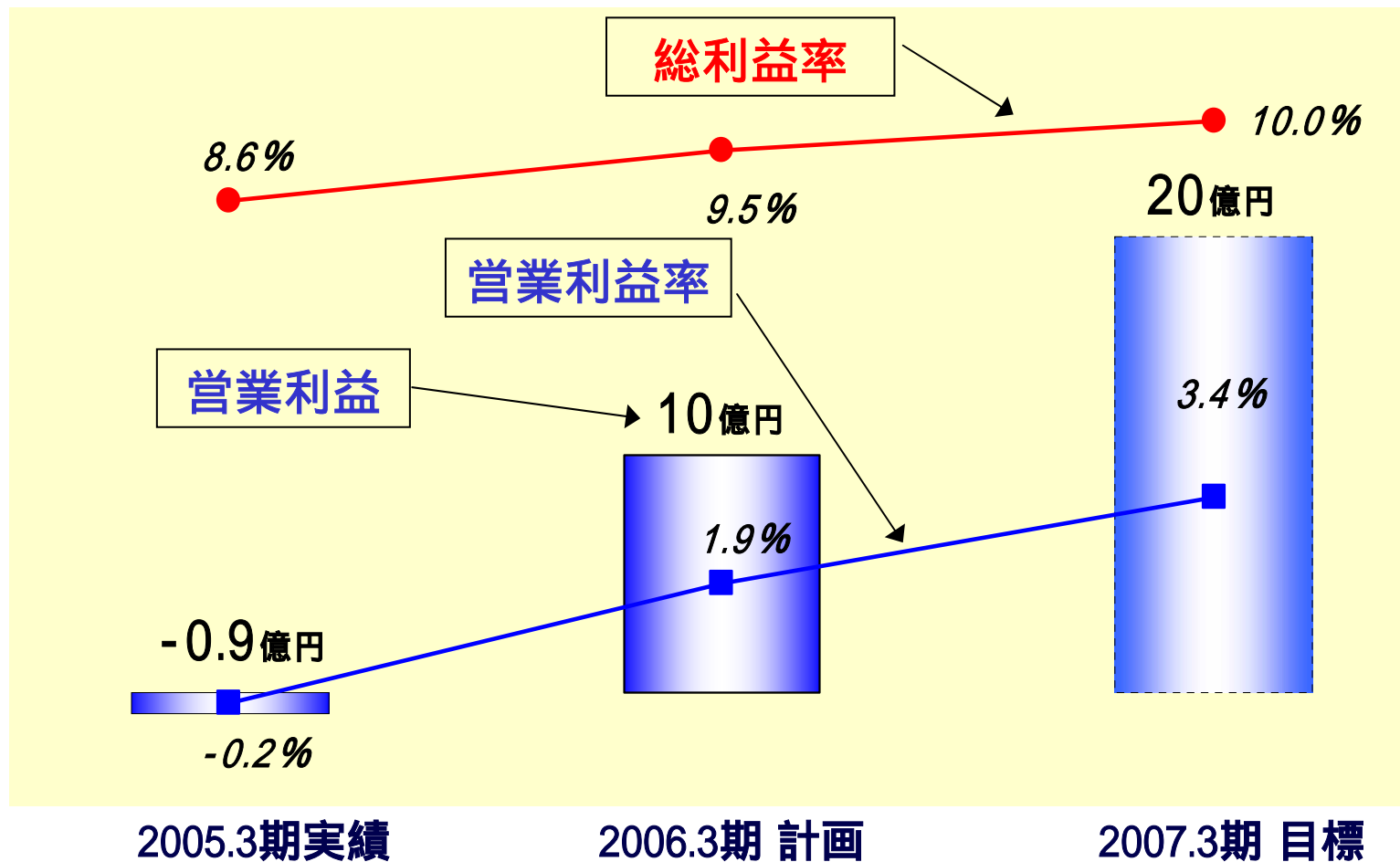
顧客別売上高

【単体】

(単位:億円)



営業利益・営業利益率・総利益率 【単体】





2006年3月期の施策



重点施策項目

民間工事の受注拡大

工事コストの低減

人事制度の改革



民間工事の受注拡大

既存顧客の受注拡大と新規顧客の開拓

川上営業の展開による受注条件の改善

リニューアル 工事の受注拡大



工事コストの低減

工事要員配置の弾力化

協力会社の体制・購買方法の見直し

徹底したプロジェクト管理の実施



人事制度の改革

成果・業績を重視した人事・給与制度の導入

・成果・業績を達成した社員の頑張り度に報いる

有技者の積極確保のための新たな雇用制度の導

入 ・社外有技者及び定年後の社内
有技者の確保

高年齢雇用安定法を先取した再雇用制度の見直

し ・年金受給開始年齢の延長を睨んで



資本政策及び投資・資金活用



資本に関する政策

配当政策

- ・ 長期の安定配当を継続する
- ・ 2006年3月期は創立40周年の記念配当を予定

自己株式の取得等

- ・ 2005年3月期に約103万株を取得、200万株を消却
- ・ 2006年3月期も一定数の取得を予定



投資・資金の活用

研究開発への投資

- ・環境・エネルギーやIT活用など、事業領域拡大分野の研究開発に積極的に投資

提携、M & A等への資金活用

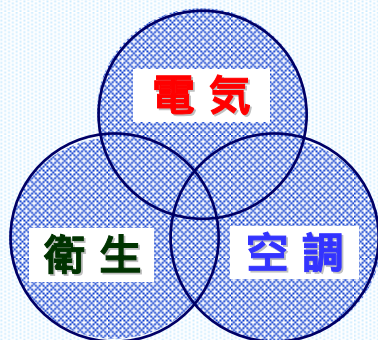
- ・ソフトアライアンスからM & Aまでを幅広く対象とし技術・事業提携や新規事業会社設立までを検討

資金活用による事業領域の拡大

総合建築設備工事業

事業基盤の維持・向上

営業・工事・フォロー体制
施工・設計・評価解析技術
品質保証・安全管理体制



周辺分野への事業拡大

投資・資金の活用

研究開発、共同研究等
技術導入、事業連携等
資本提携、M & A等

既存事業
の強化

事業分野
の拡大

